

令和8年度 第5学年 授業改善プラン

文京区立駕籠町小学校

	児童の実態及び課題	○中心とする単元	授業改善に向けての具体的な手立て	◎ 成 果 ● 課 題
知識・技能	〈理科・社会〉 - 基礎的な知識や技能の定着には個人差がある。 - 学んだことをつなげて、学習内容の全体を捉えることに課題がある。 - 資料や観察・実験の結果から、必要な事実を正確に読み取ることに課題がある。	〈理科〉 ○ 電流がうみ出す力 〈社会〉 ○ これからの食料生産	学んだことをつなげる工夫 - 学習した内容を比べたり、仲間分けしたり、図や表に整理したりすることで、知識同士のつながりを捉えられるようにする。 資料の見方の提示 - 資料の題名や項目、数値の変化、共通点や相違点など、資料を見る際のポイントを示し、必要な事実を正確に読み取れるようにする。	
思考力・判断力・表現力等	〈国語・理科〉 - 生活経験や教科・学年を越えて学んだことを結び付け、自分なりに考える力が育っている。 - 資料や実験結果などを根拠に、自分の考えを分かりやすく表すことに課題がある。	〈国語〉 ○ 白神山地からの提言 〈理科〉 ○ 電流がうみ出す力 〈社会〉 ○ これからの食料生産	考えと根拠を整理する工夫 - 文章を書く前に、資料から読み取った事実や学んだこと、実験結果を図や表に整理し、自分の考えと根拠のつながりを明確にする。 根拠を確かめる問いかけ - 考えを共有する際に、「どの事実からそう考えたのか」「これまでに学んだ何が使えるか」と問いかけ、根拠を明らかにして説明できるようにする。 書くまでの過程の重視 - キーワードや図表で考えを整理し、友達との交流を通して見直してから、問いに沿って文章に表す。	
学びに向かう力・人間性等	〈全教科〉 - 示された課題や手順に沿って取り組むことはできる。 - 自らの学習の進め方を選択したり、見直したりしながら見通しをもって取り組むことに課題がある。 - 全体で考えを共有する場面では、一部の発言を中心に学習が進むことがある。一人一人が自分の考えをもち、友達の考えと比べながら学習に参加する力を高める必要がある。	〈社会〉 ○ これからの食料生産 〈国語〉 ○ 生活をよりよくする提案 ○ 大造じいさんとがん	学習の見通しをもたせる工夫 - 学習の流れを図などで示し、児童が自分で学習方法を選び、具体的なめあてをもって取り組めるようにする。 見を活用した考えの共有 - 全体で交流する前に、一人一人が自分の考えを整理する時間を設ける。見を活用して一人一人の考えを共有し、友達の考えとの差異点や共通点、根拠に目を向けながら、自分の考えを見直せるようにする。	